

安全データシート

改訂日:2023年8月2日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称  
推奨用途  
会社名  
住所  
電話番号

亜硫酸ナトリウム(無水)  
試験研究用  
米山薬品工業株式会社  
大阪市中央区道修町2丁目3番11号  
(06)6231-3555(大阪・本社)  
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)  
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)  
AA1104

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性  
環境に対する有害性  
ラベル要素  
絵表示又はシンボル

急性毒性(経口):区分4  
水生環境有害性 短期(急性):区分3



注意喚起語  
危険有害性情報

警告  
飲込むと有害(経口)  
水生生物に有害

注意書き

【安全対策】  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
環境への放出を避けること。  
【応急措置】  
飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。  
口をすすぐこと。  
【保管】  
換気のよい涼しい場所で密閉して保管すること。  
【廃棄】  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名  
別名  
化学式  
化学物質を特定できる一般的な番号  
成分及び含有量  
官報公示整理番号(化審法、安衛法)  
その他

化学品  
亜硫酸ナトリウム(無水)  
亜硫酸ナトリウム、亜硫酸ソーダ  
 $\text{Na}_2\text{SO}_3$   
CAS RN: 7757-83-7  
亜硫酸ナトリウム 95%以上  
(1)-502  
HSコード: 2832.10

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

大量の水と石鹼で洗うこと。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合:医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤  
使ってはならない消火剤  
特有の危険有害性  
特有の消火方法

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類  
データなし。

消火を行う者の保護

不燃性である。周辺の火災に適した方法で消化する。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入りを禁止する。  
密閉された場所に立入る前に換気する。  
適切な個人用保護具を着用する。  
環境中に放出してはならない。  
漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。  
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。  
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。  
全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

接触回避

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

衛生対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。

取り扱い後はよく手と眼を洗うこと。

保管

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

容器を密閉して冷暗所で保管する。

安全な容器包装材料

施錠して保管すること。

ポリプロピレン、ポリエチレン

## 8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

管理濃度

未設定

日本産衛学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

結晶又は粉末

色

白色

臭い

無臭

融点/凝固点

>500°C

沸点又は初留点及び沸点範囲

該当情報なし。

燃焼性

不燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

該当情報なし。

引火点

該当情報なし。

自然発火温度

該当情報なし。

分解温度

600°C

pH

9.0~11.0(JIS規格値)

動粘性率(粘度)

該当情報なし。

溶解度

22g/100mL(20°C,水)、グリセリンに可溶、アルコールに不溶

n-オクタノール/水分分配係数

log Pow=-4

蒸気圧

該当情報なし。

密度及び/又は相対密度

2.63g/cm<sup>3</sup>(20°C)

相対ガス密度

該当情報なし。

蒸発速度

該当情報なし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

空気中で徐々に酸化し硫酸塩になる。

危険有害反応可能性

加熱すると分解し、有毒で腐食性のヒュームを生じる。

強い還元性がある。強酸と反応して有害な亜硫酸ガスを発生する。

強還元剤であり、酸化剤と激しく反応する。

避けるべき条件

日光、熱、接触危険物質との接触

混触危険物質

強酸、強酸化剤

危険有害な分解生成物

硫黄酸化物、亜硫酸ガス

11. 有害性情報	
急性毒性	経口 : ラットのLD50値は3560mg/kg(区分5)であるが、マウスのLD50値で820-920mg/kgという報告があり、区分4とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	OECD TG 404および405に従った試験において、亜硫酸ナトリウムは実験動物の皮膚または眼に刺激性でなかった。(区分外)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	OECD TG 404および406に従った試験において、亜硫酸ナトリウムは実験動物の皮膚または眼に刺激性でなかった。(区分外)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器 : 該当情報なし。(分類できない) 皮膚 : ヒトにおいて、亜硫酸ナトリウムとの皮膚接触による感作性のいくつかの症例が記録されている。1762人の皮膚湿疹患者の集団の僅か1.4%がパッチテストで亜硫酸ナトリウムに陽性反応を示したとある。 該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期 : Leuciscus idus(魚類)の96時間-LC50は170と370 mg/L(区分外)。 (急性) Daphnia magna(甲殻類)の48時間-EC50 118 mg/L(区分外)。 Chlamydomonas reinhardtii, Chlorella vulgaris, Scenedesmus basiliensis(藻類)の96時間-EC50三種のデータは 63 - 126mg/Lであり、藻類の最も感受性の高いデータより区分3とした。  長期 : 該当情報なし。 (慢性)
残留性・分解性	急速に硫酸塩に分解される。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	該当情報なし。(分類できない)
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	—
品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	該当法規制特定できず。
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法	危険物に該当しない。
16. その他の情報	
引用文献	NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP) OECD既存物質初期評価  記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。